

<活動スペース>

- ◆ 音の聞こえ方や見え方などを考慮し、活動の性質によってまとまりをつくる
- ◆ 音楽活動を行う場合、楽器の音の大小や置き場所、諸室の個数や広さによって空間の使い方を分ける
- ◆ 様々な活動団体のニーズや利用の仕方に応えるために、諸室をつないだり区切ったりできるようにする

■ 静かな活動室

- ▲ 講義や会議などの静かな活動を行うスペース
- ・ 免許更新の講習や確定申告の手続きなどを行う

お互いの活動の音が干渉し合わない

■ にぎやかな活動室

- ▲ 吹き抜けに面していて、1階の活動の音や様子が感じられるスペース

音が聞こえる／気配を感じる（イメージ①）



■ 大きい音の出る活動室

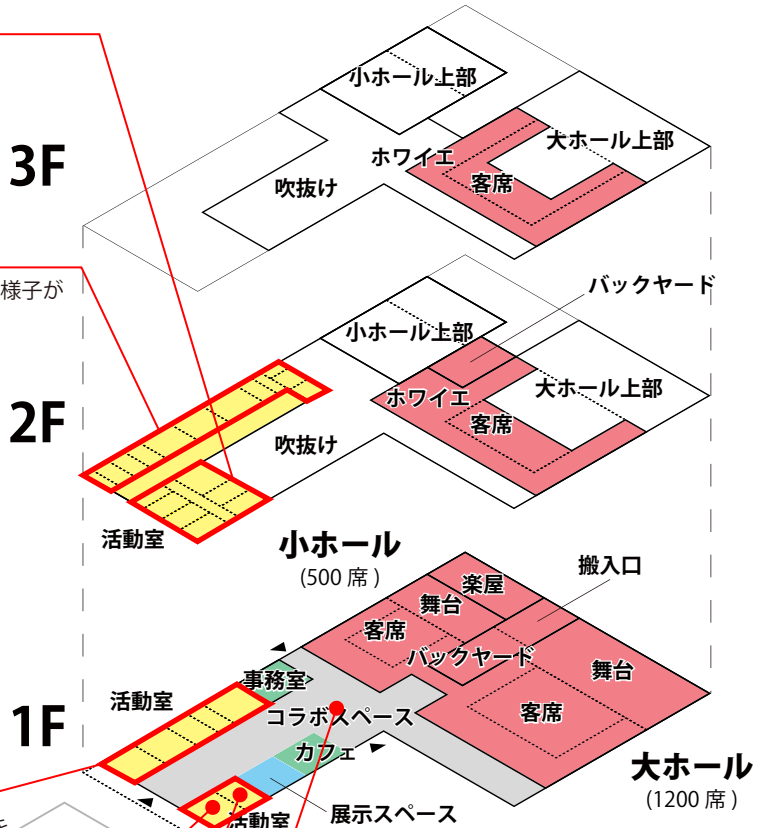
- ・ 楽器の演奏風景や DIY 活動などの賑やかな活動を人目のつく1階で行う

■ 外から活動が見える諸室

- ・ 調理室などにぎやかな活動の諸室は、人目につく西側エントランス近くに配置する
- ・ ガラス張りの諸室があると駐車場から市民の活動お様子が見えて良い
- ・ 展示室横なども活動の様子が人目について良い

■ オープンスペースに面する諸室

- ・ オープンスペースから屋内の演奏の様子が見えたり屋外で演奏したりしても面白い（イメージ②）



■ コラボスペースの多目的利用

- ・ 様々な活動を市民にアピールし、いつ来ても何か活動が行われているスペースにする
- ・ 小規模な演奏会をコラボスペースで行う
- ・ 椅子やテーブルを置いてカフェ機能をコラボスペースにも広げる
- ・ コラボスペースで演奏があると、会議室利用者はうるさく感じるのではないか
- ・ 活動の音や様子が吹き抜けを介して他の諸室に与える影響をきちんと考慮する
- ・ アンサンブルでのコンサートはコラボスペースで行い、音が気にならないようにする
- ・ 防音設備を各階に設けると良いのではないか